

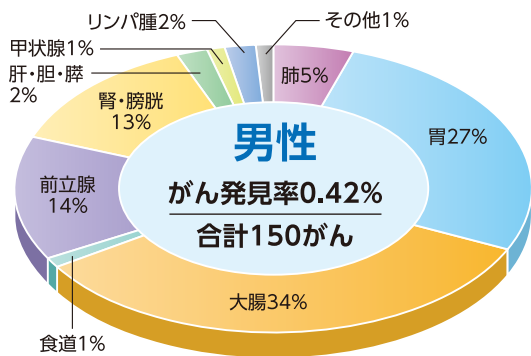
確かな安心のために

当会では、「確かな安心」をお届けするために、精検受診者数やがん発見数などの数値をしっかりと把握しています。検査精度を上げるためには、必要不可欠なものだからです。最新の当会実績をご紹介します。

当会のがん発見数(2019年度)

検診後、精検受診勧奨・フォローアップを行い、その結果を公表しています。

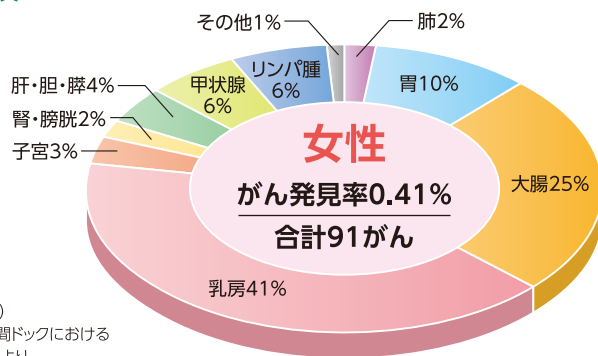
当会2019年度実績



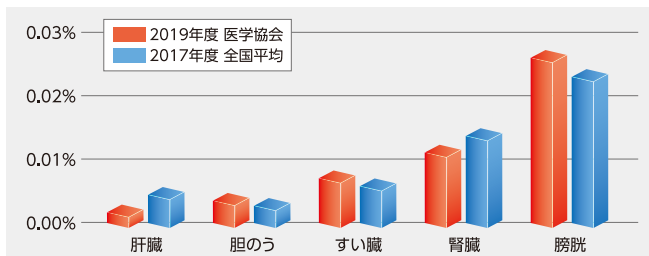
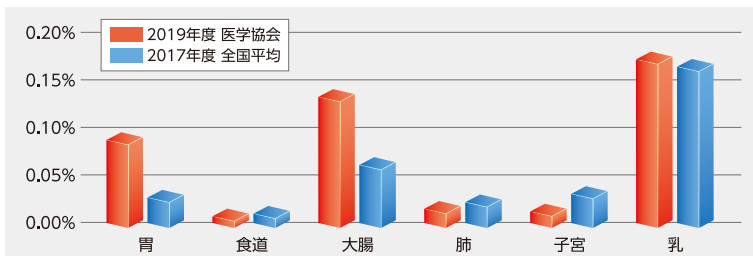
がん発見数
[241件]
がん発見率
[0.425%]

全国平均
[0.284%] (2017年)

医学協会: 当会人間ドック実績 (2019年度)
全国平均: 日本人間ドック学会 vol. 35 [人間ドックにおけるがん登録-2017年度の成績-]より



部位別のがん発見率



ステイホームがもたらす健康リスク

生活様式の変化を健診データから分析し、その最新情報を配信します。

「新型コロナウイルス感染症」に関わる健康リスクを受診実績や結果データから分析・調査し、ニュースリリースで公表しました。

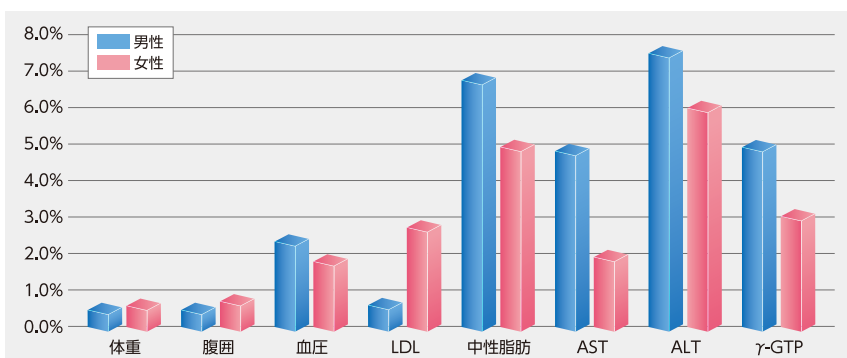
当会では、自粛生活がもたらす健康リスクを結果データから調査しました。緊急事態宣言時の2020年5月受診者4,634名について、前年(2019年)の検査値と比較しました。

◆ ニュースリリース ◆

2020年7月7日 長い自粛生活が健康診断データに及ぼす影響について
2020年9月5日 「コロナ太り」感じていませんか

多くの検査項目で前年より高値(増加)に!

検査値の上昇率 (2019年5月と2020年5月の比較)



- 外出自粛による運動不足や飲酒量の増加、自粛生活のストレスなどが原因と思われます。
- 最も悪化が見られた項目は、「中性脂肪」「ALT(肝機能)」でした。

